

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第136号	氏名	河野 仁寿
学位審査委員	主査 大園 恵幸 副査 上平 憲 副査 有吉 紅也		
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究結果の評価 本研究は、Mycobacterium avium complex(MAC)感染症に対するクラリスロマイシンと新規キノロン系薬剤併用での抗菌効果を検討しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2. 研究手法に関する評価 MAC 臨床株を用いてクラリスロマイシン及び新規キノロン系薬剤併用の抗菌効果を試験管内での微量液体希釈法による MIC 測定とマウスを用いた生体内での検討を行っており研究手法も妥当である。</p> <p>3. 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、MAC 株において試験管内及び生体内ともにクラリスロマイシンと新規キノロン系薬剤の併用により株依存性に抗菌効果を減衰させる可能性があることを明らかにし、治療抵抗性を示す MAC 感染症治療研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は、MAC 感染症治療の確立に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			